



業務報告

危険物施設総合研修訓練

事故防止調査研修センター

世代交代により、危険物施設の火災を経験した消防職員、自衛消防隊員等が減少傾向にあります。

一方、危険物やガス火災の大規模な消火訓練は、さまざまな制約で実施困難な状況にあり、危険物施設火災への対処が各方面で憂慮されています。

そこで当協会では、危険物などの災害に際して最前線で活動される方々を対象に、輻射熱体験と危険物等災害に関する知識の習得を目的とした研修・訓練を、平成25年度から開催しております。

今年度は、消防職員、事業所職員等併せて26名の方が受講されました。2日目は曇り空で少し肌寒い中での訓練となりましたが、全ての訓練を無事実施することができました。

本研修訓練の内容は、過酷な輻射熱からの安全確保及び危険物等火災の鎮火に至る過程の体験、危険物災害の基礎知識に関する講義、図上訓練による危険物等災害発生時の状況予測能力の向上や安全管理能力の習得等となっており、危険物災害に対処する際の安全かつ適切な消火活動に役立つものと、好評を得ています。

1 実施日： 令和7年11月12日（水）、13日（木）

2 実施会場： ① 研修 危険物保安技術協会（東京都港区虎ノ門4-3-13）

② 訓練 一般財団法人海上災害防止センター防災訓練所（横須賀市及び第二海堡）

研修・訓練の状況



図上訓練



ベーパー回収装置消火訓練



タンクローリー火災消火訓練



油貯蔵タンク火災消火訓練



危険物保安技術協会

Hazardous Materials Safety Techniques Association

研修・訓練の内容

研修訓練の項目と概要		
項目	研修・訓練（1日目）	消火訓練（2日目）
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・危険物災害に関する基礎知識 ・火災と燃焼・危険物の性状 ・危険物施設火災活動事例 ・大型タンク火災における状況予測型図上訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器訓練 ・基本消火訓練 ・ベーパー回収装置消火訓練 ・角タンク（オープンタンク）泡消火訓練 ・タンクローリー火災消火訓練 ・油貯蔵タンク火災消火訓練

受講された方々の声

- 泡を使える訓練施設がないので貴重な体験でした。
- 消火訓練において、参考になる点が多く勉強になりました。
- 教官の教え方がわかりやすかったです。
- 実際に燃やしての消火体験はありがたい。

※次年度は、令和8年11月上旬の開催（令和8年9月1日募集開始）を予定しております。

また、実施時期、訓練内容等については、令和8年8月にホームページでご案内する予定です。



危険物保安技術協会

Hazardous Materials Safety Techniques Association